理想の自分に近づくためには

川野結生

「自分に自信を持って行動し、いきいきと生きていきたい。」これは私が思う理想の自分の姿である。しかし、私はまだまだこの姿にはほど遠い。

私は、学校は友達と一緒に学びあうことができる素敵な場所だと思う。クラスのみんなと授業を行うので、自分とは違う友達の考え方や意見を知ることができる。そこが、学校の一番いいところだと思う。しかし、私は自信をもって発表することがあまりできていなかった。自分のノートに考えを書いたり、横の席の人との話し合いであれば自分の意見を話したりすることができるのだが、大勢の前だと自信をもって堂々と自分の考えや意見を発表することができないでいた。その度に、「考えはあるのに発表ができなかった。」と情けない気持ちになる。だから、「自分の考えをしっかりと伝えたい。」「もっと自分に自信

20 × 20

を持てるように行動していきたい。」と強く思っていた。

ある日、ふと家のパソコンに目を向けると、吉田松陰のある言葉がパソコンの画面に表示されていた。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なしと。」という言葉だ。偶然出会った言葉であったが、私にとって良い名言だと思いすぐにメモに書き写した。

「夢なき者に成功なし。」つまり、「物事を成功させるために、また、理想の自分に近づくためには夢を持つことが大切」ということだ。私はこの言葉と出会ったときに、はっとさせられた。たしかに、このときの私は自分の夢をぼんやりとしかもつことができていなかったからだ。それと同時に、「夢を持つことで、理想の自分になれるかもしれない」「自分に自信を持って行動できるようになれるのかもしれない」と、わくわくした気持ちに

20 × 20

なった。

それから、私には一つの夢ができた。「地球の環境を守る」という夢だ。その夢を叶えるために、私は大きく変わったように思える。

環境についての問題がニュースや新聞で取り上げられているときは意識して見るようになった。また、「この方法をためしてみると地球環境にどんな利点があるだろうか。」「この対策を行ったら地球上のゴミの量も減るのではないだろうか。」と、身近なところから環境問題を改善できないかと考えるようになった。

環境問題についての授業ではたくさんの意見を友達に伝え、長崎市の環境問題サミットにも参加してみたいと思えるようになった。夢ができたことで、理想の自分に近づいているような気がした。

私は来年の春に中学生になる。その三年後は高校生、またその三年後には大学生となり大人に近づいていく。立派な大人に近づいていくためには努力が必要だ。人間は全てを完

20 × 20

壁に行うことができるわけではないと思うが自分で努力できるものがあるならば目標や理想に向かって行動するべきだと思う。私はなりたい自分を目指すために「夢や理想を持ち、計画を立て、実行していく」ことを大切にし、仲間、勉強、生活などが充実した生活を送っていきたい。

「自分に自信を持って行動し、いきいきと生きていきたい。」これは私が思う理想の自分の姿である。しかし、私はまだまだこの姿にはほど遠い。でも、夢ができた私は少しずつその姿に近づいている。そうして、いつまでも夢を追いかけながら理想の自分を追い求めていきたい。

20 × 20